

◇学生たちの社会活動	.....p.1
◇後期のサービスラーニングプログラムの進め方	.....p.4

## ◇学生たちの社会活動 ～活動の様子と、学生の声～

サービスラーニングの活動を引き受けていただいた活動先団体の皆さま、本当にありがとうございました。すべての活動先ではありませんが、一部の活動先での活動の様子をお伝えします。

**特定非営利活動法人 りんりん** 活動学生：3名  
 撮影日：8月11日(火)

半田市岩滑にある「りんりん」では、高齢者デイサービスと、学童保育で活動をさせていただきました。活動最終日には、高齢者デイサービスに学童保育の子どもたちを迎え入れる異世代交流企画にも参加させていただきました。



### 学生の声

◆「今日で終わりとなると淋しいです。学童保育の子どもたちからも、もう来ないの？と言われると淋しくなります。活動が終わってもまた来たいです」。

◇「高齢者デイサービスでは、最初はどうコミュニケーションをとったらよいか分からないことへの不安が大きかったです。5日間を通してやっと慣れてきたところで活動が終わっ



てしまったため、また来て活動させていただきたいです」。



**特定非営利活動法人 ひだまり** 活動学生：6名  
 撮影日：8月20日

半田市にある「ひだまり」では、介護保険事業や喫茶事業など、幅広い事業を展開しています。

この日は、高齢者デイサービスにボランティアの先生が来られていて、学生も利用者の方との会話を楽しみ



ながら一緒に作品を創作しました。



### 学生の声

◆「どうしたらこんなにたくさんの自主事業が展開できるのだろうと考えさせられました」。

◇「いろいろな場に参加させていただき、いろんな方に出会う中で、人とのコミュニケーションの難しさを感じました」。

◆「職員さんはとても大変なはずなのに、どの職員さんもすごく楽しんでいるように見えました」。

特定非営利活動法人  
ベタニアホーム

活動学生：3名  
撮影日：8月20日

半田市にある「ベタニアホーム」では、通所介護「デイサービス」と、認知症対応型通所介護「デイサービスいきいきホーム」の2つのデイサービスで、それぞれ活動させていただきました。



この日は、学生が「デイサービスいきいきホーム」で、コースター作りの企画を行いました。

学生が自作で用意したコースター本体に、季節の草花や蝶々などの形を切り抜いた紙の上からインクを押し当てると、それぞれのオリジナルコースターが完成します。利用者に、一つ一つの工程をゆっくり説明していきます。



↑紅葉をあしらったコースターの完成です。

学生の声

◆「今回、コースター作りをやってみて、自分で練習したときのように思いどおりに進みませんでした。インク塗りの作業には、ティッシュと筆を用意していましたが、利用者の方が作業するには少し難しさがあることなどが分かりました。残りの活動でも、他の曜日のデイサービス利用者を対象にコースター作りを行うため、今日の活動で分かった課題を改善して、また取り組みたいと思います。

また、2つのデイサービスで活動させていただいたことで、それぞれの利用者さんの特徴や、デイサービスの雰囲気の違いがよく分かりました。

特定非営利活動法人  
菜の花

活動学生：4名  
撮影日：8月22日

半田市にある「菜の花」では、4名の学生が活動を行いました。学生たちは高齢者デイサービスで、鬼まんじゅうを作ったり、メンコを作ったりと、毎回自分たちで考えた企画を行わせていただきました。



この日は、利用者の方と一緒にメンコ作りを行いました。牛乳パックを丸く切り抜いたものに、昔のアニメキャラクターの色紙を貼り付け

て完成です。利用者の方には、色紙を貼り付けてもらう作業をお願いしました。完成したメンコを使い、グループに分かれ神経衰弱ゲームを行いました。



メンコのゲームの後は、坊主めくりを行いました。坊主めくりを知らない学生も多く、遊び方を教えていただきながら行いました。

それぞれのゲームを通して、学生は利用者の方が昔どんな遊びをしていたかや、学校生活のことなどを教えていただくことができました。昔の半田市の様子も聴くことができ、学生は興味深そうに聴き入っていました。

学生の声

◇「利用者の方とのコミュニケーションをどう図ったらいいのか分からず、最初は戸惑いもありましたが、職員の方にフォローやアドバイスをいただくことができ、毎回楽しんで活動をしています。



親子の広場  
あんだんて

活動学生：2名  
撮影日：8月25日

東浦町にある「あんだんて」では、地域で親子が安心して子育てできる広場をつくる事業を行っています。

学生たちは、活動のなかで、BBQ や流しそうめん、宝探し冒険などを企画しました。企画を具体的にしていくうちに、自分たちの力だけで成功させることは難しいこともわかり、スタッフやボランティア始めいろんな方の協力をいただき、力を合わせて取り組みました。



この日は、地域のボランティアによる「かざぐるま作り」と「水鉄砲作り」があり、学生も一緒に参加しました。

学生は、子どもたちに「これどうやるの?」ときかかれると、どう言えばわかりやすく伝わるのか、頭をひねりながら一緒に作業に取り組みました。



活動の感想

◇「活動初日は、子どもとどう関われば良いのか分からず精一杯でした。スタッフの方にも、

社会に出ることの厳しさを教えていただきながらのスタートとなりました。活動を積み重ね、スタッフの方に自分たちの課題を指摘していただきながら、少しずつですが子どもたち全体の様子と、子ども一人ひとりの様子がわかるようになってきました。

◆「一緒に活動している相手とのコミュニケーションもうまく取れるようになって、今ではお互いの良いところも悪いところも言い合えるような関係づくりができました」。

特定非営利活動法人  
ゆめじろう

活動学生：5名  
撮影日：9月6日

武豊町の「ゆめじろう」では、学生が夏祭りを企画したいと発案したことから、ゆめじろうと日本福祉大学サービスマーケティング学生主催の夏祭りを開催することになりました。もともとゆめじろうでも、地域住民との交流が必要という話が何度もあがっており、今回学生が力として加わったことで開催に至ったそうです。

お祭り当日まで、ゆめじろうの職員と打ち合わせを繰り返し、チラシの作成と戸別配布、出店の確保、出し物の確保、保健所への連絡、看板の作成など、学生も開催に向けて裏方として動いてきました。

ゆめじろう夏祭りの開催は今年が初めて。「人がどれだけ来るか分からず、食べ物が売れ残ったらどうしようか不安だった」という学生の不安な声が嘘のように、地

域の人がたくさん集まりました。食べ物も約1時間で完売し、大盛況なお祭りとなりました。



活動の感想

◇「最初はここまで本格的なお祭りになると思っていませんでした。ゆめじろうの職員の方

にたくさん助けをいただきながら、私たちが動けるところは私たちに任せてくださって、活動してきました。大変というよりはとても楽しかったです」。

◆「お手伝いとしてもお客さんとしても、地域の方が大勢来られたので、お祭りを通して地域の方と交流ができ、触れあうことができました」。



## ◇後期のサービスラーニングプログラムの進め方

後期では、7～9月に行った活動のふりかえりを行い、学習のまとめにつなげます。後期の授業を通して、学生たちには、大学3・4年生、またはもっと遠い将来を想定した自分自身の今後の学習目標を見つけてほしいと期待しています。

10～11月

<学習目標>

- 活動のふりかえり

リフレクションを大切に、丁寧なふりかえりを繰り返します

<学習課題>

- 活動で何を学んだのかを表現します → ○学生・活動先・大学の3者間でふりかえりを行います

12～1月

<学習目標>

- 活動報告(学習のまとめ)

活動先や学内・学外関係者にお集まりいただき、学生が学習成果のプレゼンテーションを行います

<学習課題>

- 今後、地域の一人として自分には何ができるのか考えます → 今後の学習の方向性を見つけます
- ⇒<活動報告会の開催> 下記の日程で活動報告会を開催いたします。

12月12日(土) 13時15分～16時25分 日本福祉大学美浜キャンパス

### 第2回サービスラーニングフォーラム開催のお知らせ

◀ Kathleen Dennis 氏 (ボランティア活動推進国際協議会事務局長) 講演 ▶

「米国におけるボランティア活動の現状と課題ーオバマ政権下におけるナショナルサービスやサービスラーニングについてー」

現在、アメリカではオバマ政権下で、このサービスラーニングなど市民活動のあり方が今までに増して重視されているといえます。そのなかで若い世代に対して「市民性」をどう育むかは、日米に共通した課題といえます。このフォーラムでは、アメリカの取り組みを知るとともに、それらを通して本プログラムのこれからについて、みなさんと協議したいと考えています。たくさんのご参加をお待ちしています。

- ・開催日時：11月19日(木) 16時35分～18時5分
- ・開催場所：日本福祉大学美浜キャンパス研究本館5階 大会議室
- ・主な対象：NPO・外部関係者・本学教職員 ・参加費：無料
- ・申込み/問合せ先：日本福祉大学サービスラーニングセンター

### 編集後記

活動先のNPOの皆さま、夏休み期間中、学生が様々な活動をさせていただき、本当にありがとうございました。後期からは、活動のふりかえりにはいります。引き続き、ご指導いただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。(M)



発行：日本福祉大学サービスラーニングセンター  
発行人：木戸利秋  
〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田  
Tel:0569-87-2317 /Mail:slc@ml.n-fukushi.ac.jp